

第294号 2011年11月16日
弘前大学総務部総務課

学術講演会・研究発表会・公開講座

「第11回青森糖質研究会」開催のお知らせ

1. 日時：2011年11月18日（金）
14:00～17:50
2. 会場：弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大 8階
八甲田ホール

3. テーマ：『地球の救世主、植物多糖研究の最前線』

4. プログラム：

14:00～14:10 〈開会の挨拶〉
青森糖質研究会 会長 加藤 陽治

14:10～15:10 〈講演〉

(1) 「植物は地球を救う～かわった澱粉を貯めるお米の開発～」
秋田県立大学・生物資源科学部 准教授 藤田 直子

(2) 「海藻オキナワモズク由来多糖の利用」
琉球大学・農学部 准教授 小西 照子

15:20～16:20 〈特別講演〉

「リンゴ銀葉病菌の病徴発現物質としてのエンドポリガラクトナーゼ」
弘前大学・農学生命科学部 教授 宮入 一夫

16:30～17:45 〈遠藤賞授与式および受賞講演〉

(1) サンスター株式会社 研究開発部プロテオグリカン研究グループ
「新規製法サケ鼻軟骨プロテオグリカンの皮膚アンチエイジング効果」

(2) 青森県立保健大学 栄養学科 産学官食品機能研究グループ
「地域食資源に含まれる糖質の探索と生理機能の研究」

(3) 株式会社ディメール、十和田おいらせ農業協同組合、
(地独) 青森県産業技術センター農林総合研究所、(地独) 青森県産業技術センター食品
総合研究所、(地独) 青森県産業技術センター農産物加工研究所
「農商工連携による新規低アミロース米の産業化」

17:45～17:50 〈閉会の挨拶〉

5. 主催：青森糖質研究会

第11回 青森糖質研究会
～地球の救世主、植物多糖研究の最前線～

日時：平成23年11月18日(金) 14:00～17:50
場所：弘前大学創立60周年記念会館 コラボ弘大 8階
「八甲田ホール」

参加費：無料
プログラム：
14:00～〈開会の挨拶〉
14:10～ 1. 「植物は地球を救う～かわった澱粉を貯めるお米の開発～」
秋田県立大学・生物資源科学部 准教授 藤田 直子
14:40～ 2. 「海藻オキナワモズク由来多糖の利用」
琉球大学・農学部 准教授 小西 照子
〈特別講演〉
15:20～ 「リンゴ銀葉病菌の病徴発現物質としてのエンドポリガラクトナーゼ」
弘前大学・農学生命科学部 教授 宮入 一夫
16:30～〈遠藤賞授与式および受賞講演〉
16:45～ 1. サンスター株式会社 研究開発部 プロテオグリカン研究グループ
「新規製法サケ鼻軟骨プロテオグリカンの皮膚アンチエイジング効果」
17:05～ 2. 青森県立保健大学 栄養学科 産学官食品機能研究グループ
「地域食資源に含まれる糖質の探索と生理機能の研究」
17:25～ 3. 株式会社ディメール、十和田おいらせ農業協同組合、
(地独) 青森県産業技術センター農林総合研究所、
(地独) 青森県産業技術センター食品総合研究所、
(地独) 青森県産業技術センター農産物加工研究所
「農商工連携による新規低アミロース米の産業化」
17:45～〈閉会の挨拶〉
交流会：18:00～20:00 弘前大学生協 レストラン・スクーラム
会費 一般:3,000円 学生:1,000円

主催：青森糖質研究会 青森糖質研究会 会長 加藤 陽治
共催：ひろさき産学連携フォーラム (財)おいらせ米 申込所
〒020-8602 弘前市南町1-1-1 弘前地
日本応用糖質科学会東北支部 弘前大学大学院農学研究所
青森県産学連携センター-糖質工学講座内
青森糖質研究会事務局 弘前 陽治 担当
Tel: 017-236-0015 Fax: 017-236-0016
E-mail: aomori@hiro.ac.jp

6. 共 催：ひろさき産学官連携フォーラム、日本応用糖質科学会東北支部
7. 後 援：（財）水谷糖質科学振興財団
8. 参加費：無 料
9. 事前申込：必要。（下記問い合わせ先へお申し込みください。）

10. URL：<http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/~biochel/aotouken/aotouken.htm>

※研究会終了後（18：00～20：00）、弘前大学生協レストラン・スクーラムにて交流会を予定しております。（会費 一般：3,000円、学生：1,000円）

※一般市民、弘前大学学生・大学院生・教職員、多数の参加をお待ちしております。

問い合わせ先： 青森糖質研究会事務局
弘前大学大学院医学研究科 附属高度先進医学研究センター
糖鎖工学講座内 担当：柿崎 育子
電 話：0172-39-5015
E-mail：aotouken@cc.hirosaki-u.ac.jp

平成23年度 生物共生教育研究センター公開講座「リンゴを科学する」開催のお知らせ

本年度で13回目を迎える生物共生センター公開講座「リンゴを科学する」。昨年に続いて、弘前市岩木地区で開催します。2日間のプログラムの中に、リンゴに関する様々な話題を満載して、以下の要領で開催します。りんご生産者をはじめ、どなたでも参加できます。参加費も無料になりました。多数のご参加をお待ちしています。

本講座は、青森県民カレッジの認定講座です。

1. 日 時：2011年12月 4日・5日
2. 場 所：弘前市中央公民館岩木館 大ホール
（弘前市賀田1-18-3）
3. 主 催：弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター
4. 参加費：無 料
5. お申し込み先：下記問い合わせ先へ、お申し込み下さい。
6. プログラム：

第1講演 12月 4日（日） 10：00～11：30

演 題：リンゴペクチンのちから
講 師：弘前大学農学生命科学部 教授 宮入 一夫

第2講演 12月 4日（日） 13：00～14：30

演 題：リンゴの栽培から生じる廃棄物の有効利用 “剪定枝とリンゴの種子・葉から”
講 師：弘前大学農学生命科学部 教授 片方 陽太郎

第3講演 12月 4日(日) 14:40~16:10

演題：グローバル下のリンゴ生産の課題と展望—経済計算と農協共販1世紀の歴史に学ぶ—
講師：岩手大学大学院連合農学研究科 研究員 大橋 治

第4講演 12月 5日(月) 10:00~11:30

演題：意外と知られていない剪定の話
一切り返し剪定の反応、夏期の新梢管理、移植樹の剪定—
講師：弘前大学名誉教授 塩崎 雄之輔

第5講演 12月 5日(月) 13:00~14:30

演題：日本でリンゴの有機栽培は可能か？—8年間の挑戦でわかったことと考えたこと—
講師：弘前大学農学生命科学部 准教授 伊藤 大雄

第6講演 12月 5日(月) 14:40~16:10

演題：ウイルス病害を中心としたリンゴ病害の診断・防除
講師：弘前大学農学生命科学部 教授 佐野 輝男

問い合わせ先： 弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター藤崎農場
電話：0172-75-3026
FAX：0172-75-5646

男女共同参画推進室「つがるネッサンス！地域でつなぐ女性人才」 第4回セミナー
「光」の研究・教育に魅せられて～未知へ挑み創成する楽しさと人材育成～開催のお知らせ

男女共同参画推進室では、女性研究者研究活動支援事業（女性研究者支援モデル育成）として、第4回セミナーを開催します。

物理学者として多くの業績を残され、また、たくさんの研究者を育ててこられた（独）科学技術振興機構男女共同参画主監・日本女子大学名誉教授・工学博士の小館香椎子氏をお迎えし、研究と結婚・出産・子育てを両立させてきたご自身のエピソードも交えながら、「研究のおもしろさ」「教育の醍醐味」をお話しいたします。

気軽に質問をしたり、発言や意見交換ができるトークタイムもあります。

文系・理系、男女を問わず、学生・教職員の皆さん、一度じっくり「研究」「教育」について考え、語り合ってみませんか？

- 日時：2011年12月 7日(水)
13:30~15:00
- 会場：弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大
8階 八甲田ホール
- 講師：（独）科学技術振興機構男女共同参画主監、
日本女子大学名誉教授、工学博士 小館 香椎子 氏
- タイトル：「光」の研究・教育に魅せられて～未知へ挑み創成する楽しさと人材育成～
- 参加費：無 料



6. 託児：無料の託児室をご用意しております。
11月22日（火）までにメールでお申込みください。

7. 講師プロフィール：

日本女子大学家政学部家政理学科I部（物理専攻）卒業。東京大学工学部電子工学科助手を経て日本女子大学理学部数物科学科教授。現在、日本女子大学名誉教授。

専門分野は光エレクトロニクス。第20期・21期日本学術会議会員、同・科学者委員会男女共同参画委員会委員長。電波監理審議会委員（総務省）、総合科学技術会議専門委員、応用物理学会副会長・フェロー、SPIE（国際光工学会）フェロー、など政府委員・学会役員など多数を歴任。

内閣総理大臣表彰（男女共同参画社会への貢献）、文部科学大臣表彰科学技術賞、総務大臣表彰など受賞多数。

※ご来場の際は、公共の交通機関をご利用下さい。

問い合わせ・託児申込み先： 弘前大学男女共同参画推進室
電話：0172-39-3888
FAX：0172-39-3889
E-mail：equality@cc.hirosaki-u.ac.jp
URL：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>

「つがるネッサンス！地域でつなぐ女性人才」ウェブサイト

URL：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/tsuga-ru/>

「新しいフッ素系高分子界面活性剤の開発に関する講演」のお知らせ（再掲）

1. 日時：2011年11月22日（火） 15:30～17:00

2. 場所：弘前大学理工学研究科1号館2階大会議室

3. 講師：Georgi Kostov 教授
Department of Organic Chemical Technologies,
Faculty of Technical Sciences,
Prof. Dr. Asen Zlatarov University,
Bulgaria

4. 講演内容：テロメル化反応を巧みに利用した新しいタイプのフッ素系高分子界面活性剤の合成とその機能発現に関する研究に関して、講師の方の研究成果を中心に講演していただきます。

問い合わせ先： 弘前大学理工学研究科 澤田 英夫
電話：0172-39-3578
E-mail：hideosaw@cc.hirosaki-u.ac.jp

国立大学法人弘前大学主催音楽会 弘前大学フィルハーモニー管弦楽団演奏会
－八戸地域弘前大学同窓会創立10周年記念公演－のお知らせ（再掲）

本演奏会は、平成15年から弘前大学の文化活動を地域の皆様にお知らせすると共に、地域の皆様と弘前大学の学術文化交流の一環として開催しております。

今年は八戸市で開催することになりました。また、この演奏会によって、八戸地域の皆様と弘前大学の交流を一層深めることも目的としております。

1. 日 時：2011年11月23日（水・祝） 13：00開場／13：30開演

2. 場 所：八戸市公会堂（〒031-0075 八戸市内丸一丁目1-1）
電 話：0178-44-7171
FAX：0178-44-7176

3. 指 揮：安達 弘潮（弘前大学名誉教授）

4. 演 奏：弘前大学フィルハーモニー管弦楽団

5. 入場料：有 料（小学生・中学生・高校生：500円
大学生・一般：1,000円）

6. 主 催：国立大学法人弘前大学

7. 共 催：八戸地域弘前大学同窓会

8. 後 援：青森県，青森県教育委員会，八戸市，八戸市教育委員会，東奥日報社，
デーリー東北新聞社，NHK青森放送局，青森放送，青森テレビ，青森朝日放送，エフエム青森，
八戸テレビ放送，コミュニティラジオ局BeFM



問い合わせ先： 国立大学法人弘前大学
総務部総務課総務・秘書グループ 川村
電 話：0172-39-3013
FAX：0172-37-6594

第5回 弘大病院がん診療市民公開講座のお知らせ（再掲）

1. 日 時：2011年11月23日（水・祝）
13：00～15：30

2. 会 場：弘前大学医学部コミュニケーションセンター
2階大会議室

3. 内 容：

弘前大学医学部附属病院の専門医による最新の放射線治療と、
がん経験者による体験談を患者・家族それぞれの立場から、
市民の皆様にはわかりやすく講演いたします。
講演後に質疑応答の時間を設けております。

4. プログラム：

- 演題1 「最新の放射線治療」（60分程度）
講 師 弘前大学医学部附属病院放射線科教授 高井 良尋
- 演題2 「最愛の妻を亡くして」（30分程度）
講 師 乳がん患者会ほほえみネットワーク副会長 今 薫
- 演題3 「乳がんを経験して」（30分程度）
講 師 乳がん患者会ほほえみネットワーク会長 赤石 敏子
- 質疑応答（20分程度）



5. 対 象：一般市民（事前の申込みは不要です。）
6. 入場料：無 料（病院駐車場をご利用ください。受付にて無料券を配布いたします。）
7. 主 催：弘前大学医学部附属病院腫瘍センター
8. 共 催：北東北がんプロフェッショナル養成プラン

問い合わせ先： 弘前大学医学部附属病院腫瘍センター がん診療相談支援室
電 話：0172-39-5174

平成23年度 弘前大学研究成果公開シンポジウム開催のお知らせ（再掲）

弘前大学では、東日本大震災の復興に向けた原子力災害に対するこれまでの活動と今後の新エネルギー・環境研究への取組について、本学の研究活動に御理解を深めていただき、さらなる発展・充実を図るため、研究内容・成果を分かりやすく発信するシンポジウムを東京と弘前において開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

【第1回 [東京会場]】

1. 日 時：2011年11月26日（土） 13：15～16：30
2. 会 場：東京コンファレンスセンター・品川5階大ホールA
（東京都港区港南1-9-36 アレア品川）
3. 対 象：一般、研究者、企業関係者等
4. 参加費：無 料
5. 定 員：150名程度
6. プログラム：

13：15～13：30 開会挨拶 遠藤 正彦（弘前大学長）

<第1部>原子力災害に対するこれまでの取組と今後の展開

13：30～13：55 「被ばく医療人材育成の取組」
大学院保健学研究科長 對馬 均

13：55～14：20 「被ばく医療に関する取組」
大学院医学研究科長、被ばく医療総合研究所長 佐藤 敬

14：20～14：45 「放射性物質による環境への影響とその対策」
被ばく医療総合研究所 教授 山田 正俊

14：45～15：10 「放射線科学研究による東日本大震災復興への貢献」
大学院保健学研究科 教授 柏倉 幾郎

（15：10～15：25 休憩）



<第2部>新エネルギー・環境研究への取組

15:25~15:45

「東日本大震災を踏まえた長期的地震防災力向上プロジェクト」
大学院理工学研究科 准教授 小菅 正裕

15:45~16:05

「青森発東日本大震災復興地熱研究プロジェクトの展開」
北日本新エネルギー研究所 教授 村岡 洋文

16:05~16:25

「世界自然遺産白神山地の学術的活用の試み」
白神自然環境研究所長 佐々木 長市

16:25~16:30 閉会挨拶 加藤 陽治 (研究・産学連携担当理事・副学長)

【第2回 [弘前会場]】

1. 日 時: 2011年12月 9日 (金) 13:15~16:30

2. 会 場: ベストウェスタンホテルニューシティ弘前 3階 エメラルド
(青森県弘前市大町1-1-2)

3. 対 象: 一般、研究者、企業関係者等

4. 参加費: 無 料

5. 定 員: 150名程度

6. プログラム

13:15~13:30 開会挨拶 遠藤 正彦 (弘前大学長)

<第1部>原子力災害に対するこれまでの取組と今後の展開

13:30~13:55 「被ばく医療人材育成の取組」
大学院保健学研究科長 對馬 均

13:55~14:20 「被ばく医療に関する取組」
医学部附属病院高度救命救急センター長 浅利 靖

14:20~14:45 「放射性物質による環境への影響とその対策」
被ばく医療総合研究所 教授 吉田 光明

14:45~15:10 「放射線科学研究による東日本大震災復興への貢献」
大学院保健学研究科 教授 柏倉 幾郎

(15:10~15:25 休憩)

<第2部>新エネルギー・環境研究への取組

15:25~15:45 「東日本大震災を踏まえた長期的地震防災力向上プロジェクト」
大学院理工学研究科 教授 有賀 義明



15:45～16:05 「地域エネルギーセキュリティ確保に向けたバイオマス燃料電池システムの開発」 北日本新エネルギー研究所 教授 阿布里提

16:05～16:25 「世界自然遺産白神山地の学術的活用の試み」
白神自然環境研究所長 佐々木 長市

16:25～16:30 閉会挨拶 加藤 陽治（研究・産学連携担当理事・副学長）

【お申し込み・お問い合わせ先】

<申込方法>

○下記アドレスより申込用紙をダウンロードの上、FAXまたはメールにてお申込みください。

<http://www.rprc.hirosaki-u.ac.jp/sympo/231126/index.html>

弘前大学学術情報部研究推進課

電話：0172-39-3909

FAX：0172-39-3919

E-mail：sympo@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学東京事務所

電話：03-5201-7004

FAX：03-3271-2121

東京都中央区八重洲2丁目2番1号 住友生命八重洲ビル5階 青森県東京ビジネスプラザ内

平成23年度がんプロフェッショナル養成プラン活動
『医学物理士養成のための講演会』のお知らせ（再掲）

1. 日時：2011年11月30日（水） 17:00～18:00
2. 会場：弘前大学大学院保健学研究科 大会議室（A棟2階）
3. 講師：首都大学東京大学院 教授
日本医学物理士会 会長 福士 政広先生
4. 演題：「求められる医学物理士像」
5. 対象：学生、大学院生、教職員等
6. 参加料：無料

※事前申込みは不要です。

参加を希望される方は直接会場へお越し下さい。

専門分野外の皆さんもこの機会にぜひご参加下さい。

多数のご参加をお待ちしております。



問い合わせ先： 弘前大学大学院保健学研究科 柏倉 幾郎
電話：0172-39-5938
E-mail：ikashi@cc.hirosaki-u.ac.jp

学 内 掲 示 板

データベース講習会開催のお知らせ

附属図書館が整備導入している各種データベースの講習会を開催します。講師はいずれも外部から招いた専門家ですので、分かりやすく実践的な講習内容となっております。この機会に是非ご参加ください。

**外国雑誌をパッケージにした
オンラインデータベース講習会のご案内**

**学術雑誌論文 全文データベース
Academic Search Premier
(アカデミック・サーチ・プレミア)**

外国学術論文記事の効率の良い検索方法を学びます！

EBSCOhostとは、インターネットを通じて外国雑誌の論文・記事の最新のインデックス・検索および全文検索を提供し、その際印刷・印刷・保存・メール送付ができる便利なプラットフォームです！

EBSCO Publishing Japan

EBSCO 社製では、人文・社会・自然科学・医療・コンピュータ等、幅広い分野を網羅した学術大蔵のフルテキストデータベースです。
6500 以上の外国雑誌に収録された論文・記事の全文検索を収録し、そのうち 4600 誌以上はフルテキストで提供します。高いレベルの検索からフルテキストを収録した雑誌もあります。収録雑誌は学術雑誌(査読誌)を中心としており、学術的に信頼性の高いデータベースです。
また、査読誌 1000 誌以上についても、引用元・被引用元論文のリンク検索が可能です。

日 時： 11月18日(金) 14:20～15:50
場 所： 総合情報処理センター2階 第2実習室
講 師： EBSCO Publishing Japan 古永 誠氏
参加申込： 予約不要、直接ご来場ください。
お問い合わせ： 雑誌情報担当 (内)3157

**Web of Science / Journal Citation Reports
講習会のお知らせ**

< 11/29 (火) 講習会開催 >

- 最新の検索サービスを提供している
- 新しい論文を速く検出できる
- 自分の論文が今までに何回引用されたか知りたい
- ライバルの研究成果が気になる
- 自分の分野の学術動向が気になる
- もっと良い論文を探したい

【講習会でご活用するサービス】

- Web of Science 収録雑誌 1982年～、社会科学 1983年～、人文学 1983年～
- Journal Citation Reports 収録雑誌 社会科学

この論文を引用した論文へ

引用の傾向もマップレポートで可視化

この論文が引用している論文へ

Journal Citation Reportsへのリンク

【開催日時・場所】
11/29 (火) 14:00～15:30
医学部基礎校舎学生パソコン室

THOMSON REUTERS

データベース名	講 師	日 時	実施会場
Academic Search Premier (外国雑誌文献検索データベース)	EBSCO Publishing Japan 古永 誠氏	11月18日(金) 14:20～15:50	総合情報処理センター第2実習室
Web of Science / JCR (引用索引データベース)	トムソン・ロイター 松下 豊氏	11月29日(火) 14:00～15:30	医学部基礎校舎学生パソコン室
聞蔵Ⅱビジュアル(朝日新聞) ヨミダス歴史館(読売新聞) (新聞記事検索データベース)	紀伊國屋書店 電子商品 営業部 楠 哲二氏	11月30日(水) 14:00～15:00	総合情報処理センター第1実習室
JapanKnowledge ⁺ (辞書・事典総合データベース)	紀伊國屋書店 電子商品 営業部 楠 哲二氏	11月30日(水) 15:10～16:10	総合情報処理センター第1実習室

対象者：本学の学生及び教職員（事前申込不要）

問い合わせ先： 学術情報部学術情報課（附属図書館）資料管理グループ雑誌情報担当
電 話：0172-39-3157
E-mail：jm3157@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学男女共同参画推進室からお知らせ

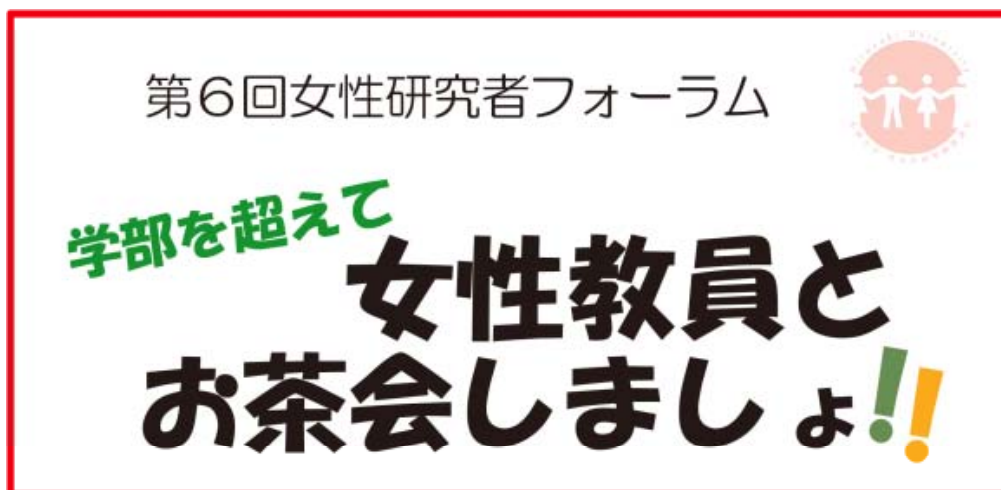
<第6回女性研究者フォーラム>

弘前大学男女共同参画推進室は、下記の要領で「女性研究者フォーラム」を開催します。参加費は無料、事前の申し込みは不要です。学生から教員まで、女性研究者の学部を超えた情報交換の輪を作りましょう！

第6回女性研究者フォーラムは、農学生命科学部 分子生命科学科 牛田准教授を話題提供者としてお迎えいたします。最先端の分子生命科学研究に興味がある方から、研究者として頑張っている方など、多くの方々の参加をお待ちしております。

1. 日 時：2011年11月30日（水） 14：30～15：30
2. 場 所：文京キャンパス・大学会館2階スクーラム
3. 話題提供者：農学生命科学部 分子生命科学科 准教授 牛田 千里
4. 話 題：研究の楽しみ、育児の楽しみ ～ncRNAと息子を追いかける毎日から～
5. 参加費：無 料
6. 主 催：弘前大学男女共同参画推進室
7. 共 催：弘前大学教育・学生委員会
(このフォーラムは、FDワークショップとして開催されます)

問い合わせ先： 弘前大学男女共同参画推進室 鶴井 香織
電 話：0172-39-3885
E-mail：equality@cc.hirosaki-u.ac.jp
U R L：<http://www.hirosaki-u.ac.jp/equality/contents/event.html>



「教職員のための制度・手続き情報ナビ」ウェブサイト公開のお知らせ
(全ての教職員を対象とした情報ナビです)

男女共同参画推進室では、教職員の仕事と家庭の調和
(ワーク・ライフ・バランス)を推進しています。

教職員の誰もが働きやすく、仕事と家庭の調和がとれる仕組みづくりのため、休暇や育児に関する制度等をわかりやすくした「教職員のための制度・手続き情報ナビ」(通称「情報ナビ」)をウェブサイトで公開することとしました。

この「情報ナビ」には、子育てや介護の休暇、結婚したときに関する制度・手続きなどの学内情報はじめ、青森県、弘前市や周辺地域における子育て利用制度なども掲載しています。

開設は11月中旬を予定しています。情報ナビの開設にご期待ください。

ホームページ：つがるネッサンス！地域でつなぐ女性人才

URL：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/tsuga-ru/index.html>

問い合わせ先： 弘前大学男女共同参画推進室 コーディネーター 山本 幸子
電話：2886(内線)
E-mail：equality@cc.hirosaki-u.ac.jp



弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上、ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

問い合わせ先： 弘前大学出版会(附属図書館内)
電話：0172-39-3168
FAX：0172-39-3171
E-mail：hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について

本学会が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

http://www.janu.jp/active/7janu_quarterly_report.html

最新号の第22号において、本学の「グラスハープ・アンサンブル」の記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から) 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日(毎月1日と16日の2回)の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務課広報・支援グループ

E-mail：jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp、Fax:37-6594、内線：3012